

生成AI業務活用タスクフォース 実証結果報告



令和5年8月17日

未来創造部DX推進課

01 本日の次第

01 **タスクフォース実証概要**

02 **実証結果**

03 **活用事例紹介**

04 **課題と今後の対応**

02 タスクフォース実証概要

生成AIの有効な利用法や課題を把握するための実証を実施

実証目的

- 生成AIの業務活用における「利用法・効果・課題」を把握

内容

- 人数・範囲・期間を絞り集中的に実証実施

組織 : タスクフォース (6/14設置、職員公募 **30** 名)

実証期間 : **6月14日~7月31日**

検証内容 : ①利用に適している **「業務・効果」**

②利用にあたっての **「課題・留意点」**

③適切な回答を得るための **「効果的な質問法 (プロンプト)」**

セキュリティ

- システムと運用ルールの設定により安全性を確保

システム : 入力情報がAI学習に利用されないサービスを利用

運用ルール : 個人情報、機密情報を入力しない

誤情報が含まれる場合があるため、事実確認の実施を前提とする

03 実証結果（業務・効果）

生成AIが県の業務の生産性を大きく向上させることを確認

全体概要

- タスクフォース全体で約**1,700回**活用
- 実証終了後、メンバーの約**95%**が、「**生産性向上に寄与する**」と評価

用途別評価

- AI相手のブレストやドラフト作成に多く利用され、**高い業務削減効果が確認**された
また、AIから新たな視点での提案をもらうことで、**業務の質も向上**した
- 一方、わずかな効果に留まる分野（情報収集・検索等）も確認された

利用項目	職員の利用率	削減時間 (分/1利用)	職員評価 (5点満点)	活用例
ブレインストーミング	82%	56分	4.2	事業アイデア出し（脱炭素、新幹線 等）
ドラフト（たたき台）作成	64%	51分	4.0	文書作成（構成案、広報文、通知文、挨拶文 等）
情報収集・整理	55%	10分	2.6	他県事例、全国数値の調査 等
要約・翻訳	41%	15分	3.6	国通知文の要約、海外対応の翻訳 等
プログラミング	32%	391分	4.6	Excelマクロ作成（帳票作成自動化 等）
データ分析	23%	24分	3.6	アンケート自由記述欄の内容分析 等

04 実証結果（活用範囲）

県職員の一般的な業務プロセスにおいて、
生成AIの活用に適否が分かれる分野があることを確認

生成AIの活用により生産性向上

活用項目

情報収集

- 情報収集・整理
（削減時間10分、評価2.6）
- 要約・翻訳
（削減時間15分、評価3.6）
- データ分析
（削減時間24分、評価3.6）

検討

- **ブレインストーミング
コンサルティング**
（削減時間**56分**、評価**4.2**）
 - ✓ 論点整理・課題発見
 - ✓ 仮説設定
 - ✓ アイデア出し

実施

- **ドラフト作成**
（削減時間**51分**、評価**4.0**）
 - ✓ 資料構成・内容検討
 - ✓ 文章作成・推敲
（広報文・通知文・挨拶文）

- **プログラミング**（削減時間**391分**、評価**4.6**）

● 業務削減効果 小

※事実確認が必要

※特性を理解した利用が必要

（検索ツールとしての利用は不適切等）

● 業務削減 大

● 業務の質 向上

● 業務削減 大

● 業務の質 向上

05 活用事例① ブレインストーミング

脱炭素施策における新規事業のアイデア出し

効果

- **発想を拡げる**
- **多角的な視点**での検証を事前に実施
- **打合せを効率化**

他事例

- 外国人観光客誘致策
- 教員の働き方改革に向けた取組み
- 生産者の要望を踏まえた伝統野菜の促販策
- 道路舗装の補修工事方法

質問 政策立案者の立場から、民間セクタにおける**水素需要の喚起策を10個**出してください

回答

- ①水素エネルギー**研究施設**の設置と助成
 - ②**教育カリキュラム**の造成
 - ③県内企業支援
 - ④公共交通機関への**水素バス導入**と普及
 - ⑤**普及啓発イベント**開催
 - ⑥商業施設等における**水素ステーション**設置
- (・・・以下略・・・)

更問 ⑤に関連して、**次世代自動車普及促進策**の詳細を検討ください

回答

- ①新技術デモや体験イベントの開催
 - ②**外部電源**としての活用推進 → **事業化を検討**
- (・・・以下略・・・)

06 活用事例② ドラフト（たたき台）作成

受給者証の更新お知らせ文案の作成

効果

- たたき台をベースに従来作業に着手
- 組織全体（起案～修正）で生産性向上
- 受け手を意識した視点・表現を検討

他事例

- クラウドファンディング募集ページ作成
- ひとり親家庭公式LINEの投稿文作成
- 首都圏商工会議所への連携提案資料作成
- イベント挨拶文作成

質問 **特定医療費（指定難病）受給者証の更新を促す通知**を作成してください

<制約条件> 500文字以内で記載

<通知内容> 毎年更新・必要書類を添えて申請・提出先は所管保健所・国の基準を満たす必要あり 等

回答

【重要】 特定医療費助成受給者証の更新

特定医療助成の受給者証は、毎年更新の必要があります。忘れずに更新手続きをお願い申し上げます。更新には、**当サイトで確認いただける必要書類を添付して手続きを行っていただく必要があります。**提出先は皆さまの居住地を所管する保健所となります。

（・・・以下略・・・）

更質 幅広い世代が理解できる**易しい文章**にして
回答

【大切なお知らせ】 特定医療費（指定難病）受給者証の更新受給者証をお持ちの皆様、**更新はもうお済みですか？**
受給者証は毎年新しくする必要があります。
方法は簡単です。まず、ホームページに書いてある必要な書類を用意しましょう。（以下略）

読み手を意識した文章作成

07 活用事例③ コンサルティング

出生率増加に向け課題分析し優先順位付け

効果

- 論点・仮説・評価を多角的で因果関係も階層構造で検証
- 納得いくまで議論を深掘り
- 論点の遺漏を確認し議論の精度向上

他事例

- 企業の人手不足解消
- 鉄道事業者の運転士不足解消
- 農地面積拡大

質問 <現状>と<在るべき姿>のギャップの 이슈ツリー（階層立てて論点整理）と県民に訴えかけるストーリーを作成してください

<現状> 福井県の合計特殊出生率は減少傾向
<在るべき姿> 合計特殊出生率を2030年までに1.8達成

- <手順>
- ・現状と在るべき姿のギャップを 이슈化
 - ・分析フレームワークを用いて、グループ化の上、評価を整理
 - ・優先順位付けとその理由を明示
 - ・語るストーリーを整備
 - ・ストーリーに基づく打ち手を提示
 - ・私のフィードバックを踏まえ再整理

回答①

- 1 経済環境**
- ・出生率低下
 - ・都市部移住
 - ・若年層雇用機会不足
 - ・経済不安軽減
 - ・子育て費用軽減
- 2 社会文化**
- 3 子育て支援策**
- 4 生活環境**
- 5 ワークライフバランス**

回答②

- 優先順位 1
- ① 子育て支援策**
- ・福利厚生改善
 - ・保育所増設
 - ・産後ケア充実（助産師訪問等）
 - ・子育て共有化マッチング（シッター・ボランティア活用）
- ② 生活環境**
- ・住宅政策（中古活用・金利支援）
 - ・公共交通充実
 - ・教育環境増進（以下略）

08 活用事例④ プロンプトデザイン定型化

精度の高い回答を得る、汎用テンプレートを職員が作成し横展開

コンサルティング

命令書

あなたはコンサルタント、私は[〇〇]です。
下記の手順に沿い、**[이슈ツリーとそのストーリー]**を出力してください。

手順

- ① **「現状とあるべき姿」**の間の**ギャップ**を「イシュー」として端的に表現してください。ギャップを分解した**要素を20個**書き出し、**約5個のグループにまとめて**ください。
- ② そのグループをもとに3階層のイシューツリーをマークダウン形式で展開してください。
- ③ 下記3A-3Dに基づき、イシューツリーの良し悪しを具体的に説明して下さい。改善すべき点があれば手順2に戻ってください。
 - ・3A モレなくダブリなく分解 (MECE)
 - ・3B 本質化 (4P/3C/ 5F等の分析フレームワーク活用)
 - ・3C 新しい構造を表現 (現状との共通点、要素間の関係性、法則など)
 - ・3D 解決可能なものにする
- ④ イシューツリーについて**私にフィードバックを求め**回答を待つこと。フィードバックあれば手順1に戻り、なければ手順5に進んでください。
- ⑤ サブイシューに対する**優先順位と理由を2案提案し**、選ばせてください。
- ⑥ サブイシューの優先順位をもとにストーリーを作成してください。私にフィードバックを求め、フィードバックあれば手順2に戻り、なければ手順7に進んでください。
- ⑦ これまでの内容について詳しく聞きたい点を、私に質問してください。

議会答弁案作成

命令書

あなたは、[福井県議会からの質問に対して、答弁を作成する担当者]です。
以下の制約条件と入力文から**[議会答弁]**を出力してください。

ヒント

- ・答弁は執行機関である福井県の公な見解や意思です。
- ・答弁は質問議員に向けてだけでなく、県民全体に向けての回答です。
- ・過去の県議会答弁は[URL]にあるので、参照の上、回答を作成してください。

制約条件

- ・答弁は、**簡潔かつ明瞭な表現を用いて作成**
- ・答弁は**3つの段落構成**で作成
(1現状、2具体的な取組状況、3今後の方針を記載)
- ・答弁の語尾はすべて常体(だ・である調)で作成
- ・個人的な感情や偏った思想に基づいた答弁作成は禁止

コマンド

私が「やり直し」と命令したら、再度新たな答弁を作成してください。

入力文

- ・県議会議員の質問は[〇〇]です。
- ・**答弁には、[〇〇]を盛り込んでください。**

09 課題と今後の対応

これまでの実証において、生成AI活用の有用性を確認
今後は「**利用拡大**」と「**AI活用の高度化**」に向けた実証に取り組み

業務・効果

一部職員による汎用的活用

- ✓ 業務生産性の向上：
有用性を確認（削減時間・職員評価ともに）
- ✓ 適応分野：
ブレスト・ドラフト作成から活用
- ✓ プロンプトデザイン：
精度向上に影響大

課題

情報漏洩・著作権侵害対策

- ✓ 入力データのAI学習利用：
問題なし（Opt-out型サービス活用）
- ✓ 海外サーバでの情報保管：
実害なし（個人情報・機密情報入力なし）
- ✓ 生成物による権利侵害：
発生せず（事前研修・意識付けが重要）

研修の成果
ルール化

実施

- ① [利用者拡大（公開情報ベース）]
職員**30名**限定 → **全庁展開**
（研修・ガイドライン・初学者向けコミュニティ・テンプレート等整備）
- ② [AI活用の高度化]
公開情報のみ利用 → **分野特化利用**
（庁内問い合わせヘルプデスク省力化）

検討

- ③ [よりセキュリティの高い環境構築]
IT企業の国内移転サーバの活用の検討
（現状、サーバは国外にのみ設置；海外保管データは外国政府が検閲可能）
- ④ [県に特化したAI]
内部情報活用の方法・環境の研究
（県文書等学習のため、データ整備およびシステム構成等の研究・準備が必要）

令和5年度

6～7月

8月

下半期